

第4回国際学生フォーラム概要

森山新（お茶の水女子大学）

1. 概要

日時 2015年3月7日～16日

場所 お茶の水女子大学（東京都文京区大塚2-1-1）

主催 グローバル教育センター・グローバル人材育成推進センター

協力 グローバル文化学環

3. 11東日本大震災から4年が経った。しかし復興は依然途上にあり、多くの被災者の方が、故郷に帰れなかったり、依然仮設住宅等での暮らしを余儀なくされたりしている。一方、あれほど原発の被害を受けた日本でありながら、原発は再稼働の方向に向かおうとしている。さらに世界に目を転じると、様々な災害、悲劇が世界の各地で起きており、それは国という枠を越えて、解決には国を超えた協力が求められている。

そのような中、我々は第4回国際学生フォーラムを開催した。参加大学はスミス大学、マウントホリヨーク大学の2校が増えて8か国10大学となった。テーマは「震災復興を越えたグローバルな対話と協力」。世界的災害が起きた時、大学生をはじめとした若者は、何をすべきか、何ができるか、政治が果たせないことを我々が果たそうと、国を超え、言語・文化を超えた討論の場が持たれた。

第4回国際学生フォーラムは、3月7日（土）から3月16日（月）までの10日間、お茶の水女子大学で開催された。このフォーラムは「国際交流論1」（担当：森山新）として開講され、単位（2単位）と成績が与えられた。今回は12月に、本学学生を対象に、フォーラムの説明会を開催、学生自らボランティアスタッフとして主体的にフォーラムを設計し、運営していく中で、今後求められるであろう、国を超えた国際的な協働の経験とスキルを育むことが大きなゴールとして立てられた。学生たちは、松下華菜さん、張襦心さんの2人の学生代表を中心に、協力し合いながら準備を進め、学生を迎え、フォーラムを成功に導いた。

なお、本フォーラムは2012年より本学がグローバル人材育成推進事業（全学型）に採択され、その一環で実施されているものである。学生受入れにあたっては日本学生支援機構（JASSO）の短期受入れ奨学金制度に採択、その支援を受けて受入れている。

2. 日程

2.1 準備状況

12月12日（金） 昼休み：説明会開催

国際学生フォーラムについて説明、履修を募った。その結果、履修・聴講合わせて20名の学生ボランティアスタッフが集まった。

【場所】 共通講義棟 3号館 104室



学生スタッフが集合

12月20日 Facebook にスタッフ用グループを作成

12月24日（水） 昼休み：第1回スタッフ会議

【場所】 学生センター棟 4階第5会議室

スタッフの顔合わせ及び役割分担、バディの担当を決定

1月15日（木） 昼休み：代表ミーティング（松下・張・森山・森田・石川）

1月16日（金） 昼休み：第2回スタッフ会議

【場所】 センター棟・第5会議室

（学生代表挨拶、工程紹介、グループ代表選抜、グループ別に検討事項の検討、役割分担、連絡体制）

1月20日（火） 昼休み：第3回スタッフ会議

【場所】 センター棟・第5会議室

（書記選出、グループ別進捗状況報告、検討事項の確認）

1月20日 サイボウズでメーリングリスト作成

1月29日 海外参加者17名が決定

2月3日(火) 昼休み：第4回スタッフ会議

【場所】 文教1号館 第3会議室

- 1) バディからの事前連絡事項(滞在中に報告書を提出する、退寮時掃除をしてもらう、来日後はメールチェックがしにくくなるので必ず伝えることは事前に伝える)
- 2) 交流について(中国の場合はFB以外で事前交流、同じ相手大学の学生全員と交流)
- 3) グループ別報告
 - (1) 学外イベント
 - ・3/8に防災館、3/11にピースオンアースのイベントに参加することを決定
 - (2) 開講式
 - ・キャンパスツアーのカメラ担当を募集
 - ・資料室の予約
 - (3) 歓迎・送別会
 - ・担当について検討(ビデオ、出し物)
 - ・歓迎会日程の検討(大学名を示し自己紹介、3時頃終了予定)
 - ・送別会の検討(カードはバディが用意して他の人にバディが頼む、カードはそれぞれが準備するのでバラバラでいい)
 - (4) フォーラム
 - ・1日目冒頭に私たちの震災体験を発表する
 - ・2日目最後に5グループに分けてディスカッションを行う(同一大学が同一グループに入らないように)
 - ・発表順の決定
 - (5) 発表
 - ・「世界的災害に私たち若者ができること」についてグループごとに発表を準備する
 - (6) 自由研修
 - ・土曜日は2コースから選んでもらう(来日後に選んでもらう)
 - ・日曜日はバディとの交流
- 4) パンフレット
 - ・担当別に書式に合わせて15日までに作成、張さんに送付する
- 5) 今後のスケジュールの確認

- ・全体ミーティング：20日昼休み
- ・リーダー会議：2月10日
- ・グループ別ミーティングはグループごとに

2月10日（火）11時 リーダー会議

【場所】 図書館

- ・各グループのパンフレット記載内容を確認

2月20日（金）昼休み 第5回スタッフ会議

【場所】 文教1号館第3会議室

2月28日 フォーラムのパンフレットを海外参加者に発送（pdf）

3月2日（月）昼休み 第6回スタッフ会議

【場所】 文教1号館第3会議室

- ・チェックシートに従い準備の最終確認
- ・チェックアウト時の集合時間、掃除の徹底と確認

2.2 国際学生フォーラム日程

3月7日（土）海外学生来日・入寮

バディを中心に女子学生は大山駅、男子学生は茗荷谷駅で待ち合わせ。大山寮は入寮生（松下、永野、張、小山、鈴木）を中心にシフトを組んで入寮手続きを行う。大塚宿舎は2人のバディ（永野、宋）が出迎える。バディが入寮及びフォーラムのオリエンテーションを行う。

3月8日（日）学外イベント

- 11:45 池袋西口に集合
- 12:00 「青森の台所わのみせ」でランチ・歓迎会
- 13:50 宮城ふるさとプラザ見学
- 15:00 池袋防災館にて震災体験
- 17:00 池袋西口で解散
- 21:00 大山寮にて歓迎会



池袋防災館にて震災体験

3月9日（月）開講式

- 10:00 開講式 羽入佐和子学長、戸谷センター長の挨拶
- 11:00 キャンパスツアー
- 12:30 交流会（大学紹介、ゲームなど）



開講式で本学学長が挨拶

3月10日（火）シンポジウム「震災の記憶を語り継ぎ、今、陸前高田から考える」
（グローバル文化学環主催企画）に参加

10:00 陸前高田実習参加者からの報告・質疑応答

13:30 ゲストスピーカーの講演と討論

實吉義正さん（陸前高田観光物産協会副会長）

佐藤一男さん（陸前高田市米崎小学校仮設住宅自治会長）

三井俊介さん（復興支援団体 SET 代表）

17:00 全体討論

19:00 記念撮影、解散



佐藤一男さんの講演

3月11日（水）震災関連学外イベント

10:00 国立博物館「3.11 大津波と文化財の再生」を見学

13:00 震災復興イベント参加

（代々木公園）

14:46 全員で黙祷を捧げる



午後2時46分、全員で黙祷を捧げる

3月12日（木）国際学生フォーラム

- 14:00 「私たちはあのとき」（井上佳苗、石川文絵ほか）
- 14:20 釜山外大の発表
- 14:50 大連理工大の発表
- 15:30 お茶の水女子大の発表
- 16:00 スミス大の発表
- 17:00 総評（釜山外国語大・諏訪先生）



学生の発表（写真はスミス大学の学生）

3月13日（金）国際学生フォーラム・閉講式

- 10:00 カレル大の発表
- 10:30 チェンマイ大の発表
- 11:00 ヴァッサー大の発表
- 12:10 昼食
- 13:10 ワルシャワ大の発表
- 13:40 お茶の水女子大の発表
- 14:20 マウントホリヨーク大の発表
- 14:50 ボン大学の発表
- 15:20 グループ別討論
- 16:30 全体討論（グループ別ディスカッションの発表）
- 17:30 総評（チェンマイ大・西田先生、お茶の水女子大・森田先生、森山、戸谷セン

ター長)
18:00 閉講式



学生の発表（写真はボン大学の学生）



閉講式にて

3月14日（土）自由研修：グループ別交流

3月15日（日）自由研修：パディとの交流

3月16日（月）チェックアウト、帰国の途に

3. 参加者

3.1 海外学生

氏名	大学	学部学科
ゴ・ソンボム	釜山外国語大学	ビジネス日本語学部
ハ・スンボン	釜山外国語大学	コミュニケーション日本語学部
キョウ・イチボン	大連理工大学	外国語学部
イン・シゲン	大連理工大学	外国語学部
テバンデイト・チャツチャノック	チェンマイ大学	人文学研究科
チャイモンコン・ラッタナーポーン	チェンマイ大学	人文学部
ニ・ユン	スミス大学	東アジア言語文学部
ウオールドマン・アニー	マウントホリヨーク大学	東アジア研究学部
ヨウ・エキリュウ	ヴァッサー大学	アジア研究科
キム・ルイス	ヴァッサー大学	生物学部
バルトショヴァー・ルチエ	ブラハ・カレル大学	哲学部
ビルネロヴァー・アネタ	ブラハ・カレル大学	哲学部
クライニスカ・アグニエシカ・ベアタ	ワルシャワ大学	東洋学研究科
マグジク・パウリナ	ワルシャワ大学	東洋学研究科
ジェミエンコヴィチ・ガブリエラ	ワルシャワ大学	東洋学研究科
ベックス・カロリン	ボン大学	アジア研究科
シュテファン・アレクサンドラ	ボン大学	アジア研究科

3.2 本学学生

氏名	所属・学年	担当
小山未空	文教育学部言語文化学科1年	パーティ
張 楠心	文教育学部 交換留学生	学生代表
石川文絵	生活科学部人間生活学科生活社会科学講座 2年	パーティ
佐藤葵	文教育学部 言語文化学科 1年	開講式
富岡志寿子	文教育学部言語文化学科 1年	学外イベント
高嶋早紀	文教育学部言語文化学科 1年	発表
永野 友梨	文教育学部言語文化学科グローバル文化学環 2年	自由研修
松下華菜	文教育学部言語文化学科グローバル文化学環 2年	学生代表・発表
佐野早希	生活科学部人間環境科学科 2年	パーティ・発表

邱于庭	文教育学部言語文化学科グローバル文化学環 2年	学外イベント
井上佳苗	文教育学部言語文化学科グローバル文化学環 3年	フォーラム
三上奈緒子	文教育学部人間社会科学科心理学コース 2年	フォーラム
北野奏子	文教育学部言語文化学科1年	発表
三谷菜穂美	文教育学部言語文化学科グローバル文化学環 3年	自由研修
宋佩	文教育学部 研究生	学外イベント・自由研修
斉藤美沙季	文教育学部人文科学科地理学コース2年	フォーラム
鈴木香緒里	文教育学部言語文化学科英語圏言語文化コース3年	パーティ
佐藤文香	文教育学部言語文化学科グローバル文化学環 2年	グロ文企画
内山みどり	文教育学部言語文化学科グローバル文化学環 2年	フォーラム
八ツ本真衣	文教育学部言語文化学科グローバル文化学環 3年	開講式

4. 教員・スタッフ

戸谷陽子	お茶の水女子大学大学院・グローバル教育センター長
森山 新	お茶の水女子大学大学院・グローバル教育センター・グローバル文化学環
森田桂花	お茶の水女子大学グローバル教育センター
長塚尚子	お茶の水女子大学大学院・グローバル教育センター
西田昌之	チェンマイ大学(招待教員)
諏訪昭宏	釜山外国語大学(招待教員)

5. 授業概要

授業名	14B2039 国際交流論1
分野名	文教育学部グローバル文化学環
担当	森山新
学期(単位)	後期集中(2単位)